

2017年3月31日

「国際的ビジネス環境等改善・シティセールス支援事業」 MIPIM2017 出展
実施報告書

- 期 間 2017年3月12日（日）～3月18日（土）
- 出張先 フランス・カンヌ
- 派遣者 グランフロント大阪 TMO：棚瀬部長／都市活力研究所 近藤主席研究員
（ジャパンパビリオン参加者：【添付資料1】）

○ 概 要

フランス・カンヌにて開催する不動産投資・都市開発分野の見本市に2015年、16年に引き続きジャパンパビリオンの一員として出展参加し、海外の不動産投資家などと情報交換、梅田地区の魅力をPRした。

- ・名称 MIPIM2017 (Cannes)
- ・主催 リード・ミデム社
- ・会場 Palais des Festivals, (フランス・カンヌ市)
- ・参加国 100か国
- ・出展者数 9,400団体
- ・参加者数 24,200人 【添付資料7】

○ 日 程

- 3/12（日）関西国際空港から出発
- 3/13（月）午後、会場入り・準備（ブース設置状況、資料設置など）
- 3/14（火）～16（木）会場内外でのPR活動
- 3/17（金）～3/18（土）帰国

○ 実施内容

（1）ブースの出展

日本参加者18者と共同で、メインホール1階（P-1,M1,L2）に「ジャパンプース」を出展した。ブースは、主にPCによる各者取組の紹介、大画面の液晶ビジョンを配置したショートプレゼンコーナー、各者パンフレットを配置した商談コーナー、および飲み物、おつまみを提供するカウンターで構成した。さらに、ブース周辺では各者持ち回りで来場者へ説明・PRを行い、ブース周囲では事務局スタッフが特製法被を着用のうえPR・ノベルティ配布を行った。

【添付資料2】



ブース訪問者数

1,370名

	9時～12時	12時～15時	15時～19時	
3/14 (火)	140名	120名	190名	450名
3/15 (水)	200名	90名	270名	560名
3/16 (木)	180名	90名	90名	360名
			総合計	1,370名

(2) PR 資料の作成・配布と動画の放映

シャンプブースで作成した総合パンフレット「JAPAN PAVILION」(A4/11頁)を設置・配布した。実践連絡会からは当事業で作成し MIPIM JAPAN (Osaka) で配布した「Osaka Umeda Meeting Planners Guide」(A4/20頁)、「Grow with UMEDA」(A4/16頁、英語版)、を設置・配布した。【添付資料3】



(配布資料等一覧)

資料名	持参部数
日本 JAPAN PAVIRION	1,500
Osaka UMEDA Meeting Planners Guide	50

(3) PC (WEB) を用いた訪問者への説明

また、MIPIM 大阪の際に作成した動画(10分)を放映し、ブース来場者へ JAPAN、UMEDA を紹介、PR した。



PC 周辺の様子

(4) ショートプレゼンテーション発表

ジャパンブースにて、大画面液晶ディスプレイにて PPT 資料を投影のうえ各者交替でショートプレゼン（実践連絡会は 15分程度×2コマ）を行い、紹介・PR を行った。実践連絡会からは梅田地区の概要とエリアマネジメントについて紹介を行った。

【添付資料4】



実践連絡会発表の様子

(5) パビリオンでの来客対応、おもてなし

① ノベルティ配布

ブース来場者や個別相談者向けにトートバッグ、折り紙、出展者名・JAPAN ブース名・日本イラストがデザインされたデコチョコを配布した。更に名刺提供者にはオリジナルモバイルバッテリーを配布した。

①トートバッグ (700セット)



②折り紙 (1000セット)
表紙にJAPANブースのアピール



③デコチョコ (計4000個)

- ・企業・団体ロゴ入りチョコ：各150個
- ・ジャパンプースロゴ・日本イラスト入りチョコ



④モバイルバッテリー (200セット) ※名刺提供者向け



② 飲食提供

法被着用の女性により日本酒（獺祭）、ウィスキー、ボトル水の飲み物 3 種と、おつまみ 4 種を配布した。

■ 飲食提供（専門スタッフにて）

① 飲み物

日本酒（瀬祭：提供）、ウイスキー、ボトル水



② 食べ物（おつまみ程度）

- ・豆腐スイーツ（パリのショップTOFU YA:提供）
- ・柿の種
- ・チョコレート：ポッキー
- ・チーズ、ドライフルーツ、ナッツ等（現地購入予定）



豆腐ベースのスイーツ



個別包装の柿の種



ピーチ味ポッキー

③ 日本文化の発信

ショートプレゼンの合間には和楽器（津軽三味線）演奏のパフォーマンスにより、日本文化の発信を行った。



演奏者によるパフォーマンス

(6) カンファレンス等への参加・ネットワーキングパーティーへの参加

近隣ホテルの宴会場を貸切り様々なテーマで開催されるランチミーティング（招待制で招待者のみ参加）のうち、下記に参加し、各国の不動産関係者や投資家とのネットワーキングを行った。

- (a) fDi アワード
- (b) Asia Lunch
- (c) MIPIM Startup Competition
- (d) Proptech Meetup



(a) 3/14 12:00~ fDi アワード

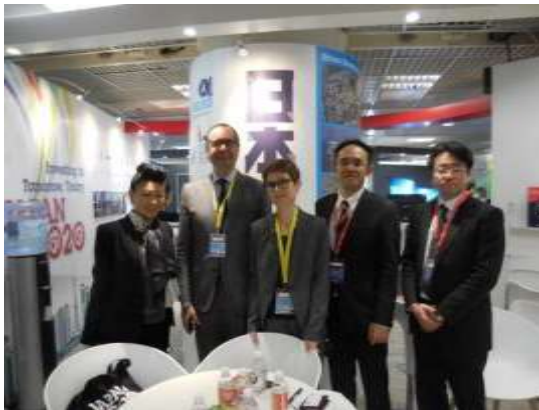


(c) MIPIM Startup Competition

(7) 他の参加者との個別面談

実践連絡会個別の取組として、現地訪問に先立ち MIPIM 参加者データベースを活用し、都市活力研究所、現地通訳の協力を得てアポイントをとった相手方と、相手方ブースや当ブースの打合せスペース等で個別にミーティングを行った。

JAPAN+Osaka を PR するため、Grow with Umeda パンフレットなどにより梅田地区の魅力について詳しく説明するとともに相手方の求めているニーズなどについて活発な意見交換を行った。相手方には、最後に関連資料の入った USB メモリ（MIPIM JAPAN 実施時に作成）を手渡した。【添付資料5】



フランス・ヴァルトワーズ県



ポーランド・クラコフ市



MONOCLE 社



Wall Street Journal 社

○ その他報告（MIPIM AWARD）

全世界から応募されたプロジェクトのうち、予備選者を通過した 44 件を対象に、11 人のジャッジと、MIPIM 参加者全員による投票により選考され 12 の賞が与えられた。日本からの応募作品「Kashiwa-no-ha Smart City」(三井不動産)が **BEST FUTURA MEGA PROJECT** に選出された。【添付資料6】



○ 総括

東京に比べ知名度の劣る大阪のPRの機会を得たことに加え JAPAN+Osaka をPR するため、今回出展した大阪市と足並みを揃え積極的に個別アポイントを取ったことから、他国行政の上層部や世界的に有名なメディアの記者などと意見交換することができた。メディア記者から大阪を対象とした記事に取組む発言が出るなど、大阪の情報を発信することができた。

【添付資料】

1. ジャパンパビリオン参加者リスト
2. 会場内マップ、公式カンファレンス・イベントプログラム
3. ジャパンパビリオン共通パンフレット
4. ショートプレゼン予定表、プレゼンスライド（実践連絡会）
5. 個別面談時間割表、個別面談記録、名刺交換リスト
6. MIPIM AWARD（抜粋）
7. MIPIM2017 主催者発表統計資料（速報値）

以上